

福岡県警城南警察署が竣工しました。



通りに面して明るさと安心感を与える新庁舎



敷地なりに“く”の字を描く建物形状

CONCEPT

まちの安全を見守る新設署の行灯

管轄エリアの警察力向上と犯罪率抑制を図る、所轄署の新設となります。不整形な敷地形状や高さ制限に合わせ、“く”の字型の建物平面とすることで、効率的な建物配置と十分な容積を持つ庁舎を実現しました。

道路に面する“く”の字、内側部分をガラスカーテンウォールのファサードとし、各層の庇で水平ラインを強調することで、小さな間口で接道している幹線道路に対して、警察機能の存在感を十分に示し、まちを安全に見守る“行灯”の役割を果たします。



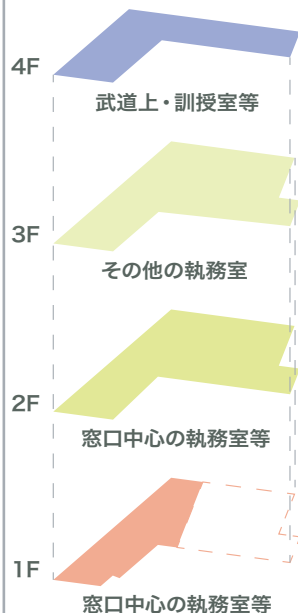
わかりやすくエントランスを示す赤色ライン

DATA

敷地面積	4,800.58㎡
建築面積	2,114.79㎡
延床面積	6,907.01㎡
建ぺい率	44.06%(許容60%)
容積率	124.44%(許容158.83%)
構造・規模	RC造
	地上4階 杭基礎
最高高さ	17.91m
軒高	17.11m
天井高さ	1階・4階 2.6m 2階・3階 4.0m
主なスパン	13.0m×6.3m
設計期間	2018.10~2020.03
工事期間	2020.10~2022.03

101

PLAN DIAGRAM



均質で高耐久の庁舎を生み出すPC外壁

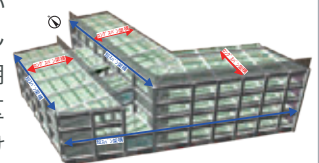


緩やかな駐車場動線を形成する“く”の字の建物形状

TOPICS

用途境に合せた立体構成とPRC架構

近隣の居住環境や法的な高さ制限に配慮し、幹線道路沿いの第2種住居地域に“く”の字型の主たる立体を積層しました。プレストレストコンクリート(PRC)の架構で6.3m×13mの均一スパンを構成し、外壁全周はプレキャストコンクリートとしています。フレキシブルで耐久性の高い躯体(スケルトン)によって、利用者にとっては分かりやすい業務窓口を提供し、職員にとっては使いやすく管理しやすい専用エリアを区分して設けました。



構造架構モデル図

写真：溝江・香椎・広田特定建設工事共同企業体

▶ <http://www.nissoken.co.jp>